

平成 26 年 1 月 20 日

「教育システム改善のためのアンケート」の集計結果

資源循環システムコース教育システム改善委員会

佐藤委員長

福嶋委員

太田委員

1. はじめに

北海道大学工学部・資源循環システムコースでは、教育内容・方法等を継続的に改善していくことを目的として、2002年(平成14年)8月に教育システム改善委員会を設置した。本委員会は、学生・社会人を対象としたアンケートを通して、本コースの教育に対する学生・卒業生の評価・意見・要望等を受け付け、これを集計・分析してコース会議に報告することを活動の骨子としている。

ここでは、本コース学生を対象に平成25年10月に実施したアンケートの回答を集計した結果を報告する。

2. アンケートの実施方法と書式

学部2年生、3年生および4年生を対象としたアンケートは、別紙1に示す書式(質問書と回答書)を用いて下記の要領で実施した。

表1 アンケート実施要領

対 象	実施日	実施場所	備 考
2 年生	10 月 7 日	授業にて	授業中に配付，回収
3 年生	10 月 7 日	授業にて	各自配布，研究室ごとに回収
4 年生	10 月 15 日	研究室	各自配布，研究室ごとに回収

3. 集計結果

3.1 回答者に関して（設問 1）

設問 1 は回答者自身に関する情報を得るために設けたものであり、学年について、B (学部 3 年)、C (学部 4 年)のうちにはまるものを○で囲むよう問うている。2006 年度以降は学部 2 年生が新カリキュラムとなり後期にコース分属が行われるため、秋アンケートは学部 3,4 年生のみを対象として行っている。表 2 に小設問(1)への回答の集計結果を示す。全体として 91%の回答率を得た。

表 2 回答者内訳と回答率

学 年	対象数	回答数	回答率
学部2年	41名	39名	95.1%
学部3年	37名	36名	97.3%
学部4年	33名	26名	78.8%
合 計	111名	101名	91.0%

3.2 カリキュラムに対する評価（設問 2）

設問 2 では、カリキュラムに関して以下の 9 つの小設問を設けて質問している。なお、いずれの小設問についても複数回答可としており、小設問(1)～(3) に関しては平成 20 年度 I 期に受講したのもののみ回答するように指示している。小設問(4)では、その他カリキュラムに関する自由な意見を求めた。

- (1) 授業の内容・方法等が**すばらしかった科目**があれば、「科目番号」を記入して「どのようにすばらしかったのか」をできるだけ具体的に述べてください。

例：「高度な内容にもかかわらず授業の構成が上手で理解しやすかった」「実物に触れる機会が多く、具体的だった」「厳しかったが熱意を感じ、やる気がでた」「質問に対して的確に誠意をもって返答してくれた」「ユーモアにあふれ退屈しなかった」等々

- (2) 授業の内容・方法等に**問題を感じた科目**があれば、「科目番号」を記入して「どんな問題があったのか」をできるだけ具体的に述べてください。また、「問題の解決法・改善策」について意見のある方は、これについても述べてください。

例：「むつかしすぎて（勉強したにもかかわらず）ついていけなかった」「簡単すぎる」「シラバスと授業内容が全く異なる」「欠講が多い」「板書をもっと整理すべきだ」「声がきこえない」「駄洒落はいらない」等々

- (3) **成績の評価に疑問を感じた科目**があれば、「科目番号」を記入し、「その理由」をできるだけ具体的に述べてください。

例：「ほとんど出席していないのに優だった」「友だちより出席・テストいずれもがいいはずなのに彼は優で私は可だった」「授業に出ていない内容がテストに出た」「成績が入っていない」等々

- (4) その他、「カリキュラム」に関してご意見があれば自由に述べてください。

表 3.1 に回答の集計結果を示す。小設問(1)は、「授業の内容・方法がすばらしかった科目」に対する回答である。本年度 I 期に受講した科目に対してのみに限定した設問であり、回答を見ると上位 3 科目は「流体工学」が 20 件、「地球科学」が 10 件、「熱力学」が 9 件、「応用数学演習」および「インターンシップ」が各 7 件となっている。すばらしかった科目への意見は、「質問しやすい」「板書が良い」「演習で理解が深まった」「熱意を感じる」などであった。

小設問(2)は、「内容・方法に問題を感じた科目」を問うている。表に示されるように最も多くの指摘を受けた科目は「基礎図形科学」が 9 件である。その理由は「内容が理解できない」「説明が足りない」などであった。次いで「建設材料」および「土の力学」が各 4 件となっていた。理由は「パワーポイントが見難い」「内容が難しい」「授業時間が短い」などであった。

小設問(3)は「成績の評価に疑問を感じた科目」を問うたものであるが、「成績評価基準」に対する指摘が若干見られた。

小設問(4)は、「カリキュラム」に関する自由な意見を求めたものである。回答としては、「2, 3 年生における選択科目を増やして欲しい」などカリキュラムに関する意見が目立った。

表3.1 H25年度秋アンケート 科目別回答数まとめ [2-(1)~(3)]

学年	科目番号・科目名	単位	必修・ 選択	学期	講義・演習・ 実験の別	2- (1) 回答数	2- (2) 回答数	2- (3) 回答数
2年	1 応用数学Ⅰ	2	必修	2・Ⅰ	講義	6		
	2 応用数学演習Ⅰ	1	必修	2・Ⅰ	演習	8	1	
	3 基礎図形科学	2	選択	2・Ⅰ	講義		12	3
	4 地球科学	2	必修	2・Ⅰ	講義	10	3	1
	5 弾性体の力学	2	必修	2・Ⅰ	講義	3	2	1
	6 熱力学	2	必修	2・Ⅰ	講義	9	2	
	7 計測工学	2	必修	2・Ⅰ	講義	4		
	8 建設材料	2	選択	2・Ⅰ	講義		5	2
	9 資源循環デザイン	1	必修	2・Ⅰ	演習	2		3
	10 生物工学概論	2	選択	2・Ⅰ	講義		2	
	11 情報エレクトロニクス概論	2	選択	2・Ⅰ	講義		2	
3年	1 流体力学	2	必修	3・Ⅰ	講義	20		
	2 土の力学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義	1	4	
	3 物理化学演習	1	必修	3・Ⅰ	演習		1	
	4 建築都市学概論	2	選択	3・Ⅰ	講義			1
	5 資源循環システム実験Ⅱ	1	必修	3・Ⅰ	実験		1	
	6 粉体工学	2	必修	3・Ⅰ	講義	4	1	
	7 インターンシップ	1	選択	3・Ⅰ	実習	8		
	8 岩盤工学	2	必修	3・Ⅰ	講義			
	9 環境化学	2	必修	3・Ⅰ	講義		1	
	10 資源化学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義	1		
	11 資源循環システムⅡ	1	選択	3・Ⅰ	演習	2		2
4年	1 廃棄物処理工学	2	選択	4・Ⅰ	講義	1	1	
	2 気象学	2	選択	4・Ⅰ	講義	3	3	
	3 機械工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義	3		
	4 コンストラクションマネジメント	2	選択	4・Ⅰ	講義	6	2	
	5 現代物理学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義	3	1	1
	6 材料工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義	5	2	4

資源循環システムコース学生の皆様

資源循環システムコース コース長
藤井 義明

教育システム改善のためのアンケート(平成25年度)

学生の皆さんにより良い教育サービスを提供する…これが大学の使命です。
このためには、教育の目標や内容・方法について吟味し、その改善のための努力をたゆむことなく続けていく必要があります。そして、この努力を実のあるものとするためには、サービスの受益者たる学生・卒業生の皆さんの意見を知らることが不可欠です。

以上のような考えから、北海道大学工学部 資源循環システムコースでは、教育システム改善委員会を設置し、学生・卒業生の皆さんを対象としたアンケートを定期的実施して、その声を教育システムの改善のために反映させていくことと致しました。多少骨の折れるアンケートだとは思いますが、皆さん自身あるいは後輩たちのことを考えて、ご協力下さい。

それでは、以下の質問に対してお答えください。回答は添付した回答用紙の該当個所に記入して教育システム改善委員会に提出してください。

1. あなた自身について

まず、あなた自身についてお聞かせください。

(1) あなたの学年・身分は？ 該当するものを選んで記号を○で囲んでください。

- A : 学部2年 B : 学部3年 C : 学部4年 D : 大学院生
E : 社会人(技術系) F : 社会人(非技術系) G : その他

(2) あなた(学部学生, 大学院生)はどのような進路を考えていますか？

あなた(社会人)はどのようなお仕事に就かれていますか？

例えば、「大学院進学」、「環境関連の研究者」、「建設業界」などのように記入してください。

2. カリキュラムについて

3ページの目のカリキュラム表を見て、下記(1)～(3)の質問にお答えください(複数回答可)。受講されていない科目もあるかと思いますが、本年度前期(4～9月)に受講したもののみ回答してください。「科目番号」とは、カリキュラム表内に記載されている番号です。又、(4)に関してはご自由に記述ください。

- (1) 授業の内容・方法等がすばらしかった科目があれば、「科目番号」を記入して「どのようすばらしかったのか」をできるだけ具体的に述べてください。

例：「高度な内容にもかかわらず授業の構成が上手で理解しやすかった」「実物に触れる機会が多く、具体的にやった」「厳しかったが熱意を感じ、やる気がでた」「質問に対して的確に誠意をもって返答してくれた」「ユーモアにあふれ退屈しなかった」等々

科目番号 _____

科目番号 _____

- (2) 授業の内容・方法等に問題を感じた科目があれば、「科目番号」を記入して「どんな問題があったのか」をできるだけ具体的に述べてください。また、「問題の解決法・改善策」について意見のある方は、これについても述べてください。

例：「むつかしすぎて(勉強したにもかかわらず)ついていけなかった」「簡単すぎる」「シラバスと授業内容が全く異なる」「欠講が多い」「板書をもっと整理すべきだ」「声がきこえない」「駄洒落はいらない」等々

科目番号 _____

科目番号 _____

- (3) 成績の評価に疑問を感じた科目があれば、「科目番号」を記入し、「その理由」をできるだけ具体的に述べてください。

例：「ほとんど出席していないのに優だった」「友だちより出席・テストいずれもいいはずなのに彼は優で私は可だった」「授業に出ていない内容がテストに出た」「成績が入っていない」等々

科目番号 _____

科目番号 _____

- (4) その他、「カリキュラム」に関してご意見があれば自由に述べてください。

ご協力ありがとうございました。

【 提出は担当の先生、またはコース秘書小林 (A 6 5 4 L) までお願いします 】

<カリキュラム表>

科目番号・科目名		単位	必修・選択	学期	講義・演習・ 実験の別
1	流体力学	2	必修	3・I	講義
2	土の力学Ⅱ	2	選択	3・I	講義
3	物理化学演習	1	必修	3・I	演習
4	建築都市学概論	2	選択	3・I	講義
5	資源循環システム実験Ⅱ	1	必修	3・I	実験
6	粉体工学	2	必修	3・I	講義
7	インターンシップ	1	選択	3・I	実習
8	岩盤工学	2	必修	3・I	講義
9	環境化学	2	必修	3・I	講義
10	資源化学Ⅱ	2	選択	3・I	講義
11	資源循環システムⅡ	1	選択	3・I	演習